

クマスギ

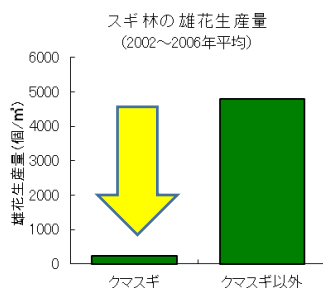
～長野県在来の花粉が少ないスギ品種～

長野県林業総合センター 育林部・木材部

須坂市周辺地域で従来から使われているクマスギは、県内唯一の挿し木品種で、令和5年度に長野県が「花粉が少ない品種」として認定しました。

花粉の発生量が少ないだけでなく、心材色も黒くなく、基準強度を上回る強度性能があり、寒冷地の県中部での成長も良好でした。

・花粉量は常に通常の10%以下



クマスギの花粉生産量は5年間の平均で、他地域のスギの5%程度でした



・コンテナ苗で増殖開始



「花粉の少ない品種」の増殖に向け、令和6年度からコンテナ苗木生産技術を開発しています

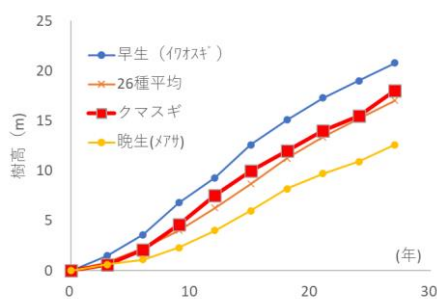
その後の調査で、クマスギは単一遺伝子を持つクローンであることが確認できました

これまでにわかっているクマスギの特徴

・順調に成長



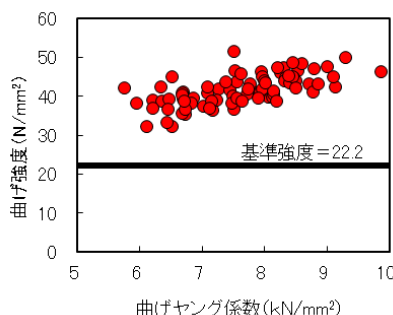
全国の優良スギ26品種を植栽した安曇野市三郷の試験地では、26年時に18mに達し、全体平均を常に上回っていました



・基準強度を上回る性能



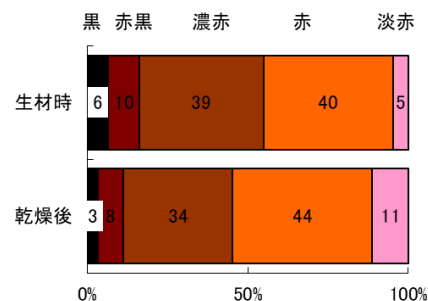
実大材の強度試験を行ったところ、スギの基準強度を下回るものはありませんでした



・心材色は黒くない



黒心だと言われていたクマスギですが、心材色を調査したところ、本当に黒と判断されたのは5%程度でした



人にも優しく木材としての価値もある新たな県産品種としての活用が期待されます

本研究は、開設当初から林業指導所造林部及び林業総合センター育林部・木材部が、半世紀以上の年月をかけて研究を積み上げてきた成果です

連絡先：長野県林業総合センター 育林部 小山泰弘・二本松裕太
木材部 山内仁人

Tel 0263-52-0600 E-mail ringyosogo@pref.nagano.lg.jp